



WORLD NISHIKIGOI CLUB

錦鯉業界に新たな枠組み

「一般社団法人ワールド ニシキゴイクラブ」が発足

今秋、第1回ワールドニシキゴイショーを三原市で開催！



左から副会長の成田隆輝氏、会長の阪井健太郎氏、理事の間野弘氏

今春、錦鯉業界に新たな団体「一般社団法人ワールドニシキゴイクラブ」が設立された。

錦鯉業者と愛好家の両者が所属できる新たな枠組みで、11月には三原市芸術文化センターポロにて第1回ワールドニシキゴイクラブコイショーの開催を予定している。

設立の趣旨や経緯など、率直に「どんな会なの？」というところを、会長の阪井健太郎氏（㈱阪井養魚場）、副会長の成田隆輝氏（成田養魚園㈱）、理事の間野弘氏（大日養鯉場㈱トヨタ店）の三名に会を代表してお話を伺った。

—— 一般社団法人ワールドニシキゴイクラブの設立おめでとうございませう。設立のいきさつや趣旨などを教えてください。

阪井 昨年の秋に話が出て動き始めたのでまだ半年なんですけど、このたび定款と設立趣意書ができて、振興会員の皆様には設立趣意書を送らせていただきました。私たちの設立に向けての思いを込めましたので、この場を借りて改めて愛好家の皆様にもご一読いただければと思います。(14頁参照)

全日本総合錦鯉品評会の歴史が50年を超え、その間に錦鯉の大型化、改良において目覚ましい発展がありました。とくに、近年のフルサイズの全国規模の大会では95cm以上の鯉が大会総合優勝を獲得するのが通例となっています。チャンピオンを狙うには1メートルを目指す必要があります、多くの愛好家や生産・取扱業者にとって困難なハードルとなっているため、より多くの人にチャンスのある「85部まで」の品評会を開催するために立ち上げた取り組みです。

成田 「最高の85を求めて」をコンセプトに掲げていますので、錦鯉業界のより多くの皆様に参加していただけたらと思います。

—— 理事役員には、業界のトップランナーたちが集まっていますね。

阪井 短期間でこれをカタチにして実現するにはスピード感が必要なので、まずは趣旨に賛同していただけた方々にお集まりいただき、こうしてリリースできる段階までたどり着きました。いろいろなことが正式に決まらないうちになかなか公式発表できない部分もあったのですが、ようやくこうしてお披露目できます。

間野 これまで断片的に情報が伝わっていたので、「いったい何をしようとしているの?」と、ちょっと訝しげに聞かれることもあったんですが(笑)、「秋にこういう品評会をやりたいね」というところから始まり、それを実現するにはどうしたらいいか?と考えると、こういう会を立ち上げて進めてきたんですよという話なんです。

なかなかお一人ずつに説明していくのも大変なので、今回の記事を通じて僕たちの趣旨が多くの皆様に伝わったらいなと思っております。

成田 この品評会の一番のポイントは「85部まで」ということです。これは趣意書にも書いてありますが、やっぱり現在のフルサイズの品評会で日本一つまり世界一になるうと思つたら、95センチを超えてこないという時代に入っています。それでは、ごく一部の



理事役員による会合の様子

一般社団法人ワールドニシキゴイクラブ理事役員名簿

会長	阪井健太郎 (㈱阪井養魚場)
副会長	成田隆輝 (成田養魚園㈱) 吉田秀一 (㈱オダカン)
理事	間野 太 (大日養鯉場㈱) 伊佐光徳 (伊佐養鯉場㈱) 間野弘氏 (大日養鯉場㈱トヨタ店) 近藤知由 (近藤養魚場㈱) 飯塚敬浩 (㈱松江錦鯉センター) 前田大輔 (岡山桃太郎鯉) 面迫隆義 (㈱面迫養鯉場)

愛好家さんにしかなチャンスがないし、それは生産者さんにとつても同じで、95センチの勝負となつてくるとかなりハードルが高いです。でも、85部ならけっこう広く多くの愛好家さんと生産者さんにチャンスがあるのではないのでしょうか。

—— 要項を拝見すると、出品サイズ区分が12〜17/17〜22/22〜27/27〜32といった具合に既存の品評会とは少し違いますね。

阪井 全日本、若鯉、全日鱗などの既存の品評会とは重ならないよ

ワールドニシキゴイクラブ設立趣意書

～最高の 85 を求めて～

約 200 年前に新潟の地で誕生した我が国が誇る「泳ぐ宝石」錦鯉は、先覚者の絶え間ない努力により、近年では世界各地で普及し、日本を代表する文化の一つとなりました。それに伴い、錦鯉は政府が指定する「輸出重点品目」に新たに追加され、ますます世界へと広がりを見せています。

1968 年に開催された第 1 回全日本総合錦鯉品評会では、4 部（49～59cm）のドイツ昭和がチャンピオンに輝きました。しかし現在では、95 センチ以上の鯉が全体総合優勝を獲得するようになっていました。一方で、チャンピオンを目指すには 1 メートル近くの鯉が必要となり、その結果、チャンピオンに挑戦するのが困難との声が愛好家の方から聞こえてくるのも実情です。

そこで、多くの愛好家の皆様から「誰もがチャンピオンを目指せる 85 センチまでの品評会を開催して欲しい」との要望を頂き、今回ワールドニシキゴイクラブを設立しました。愛好家の皆様の要望に応えるため、そして錦鯉業界を更に盛り上げていくために、85 センチを上限とした第 1 回ワールドニシキゴイショウを開催いたします。

この新しい品評会を契機に、更なる錦鯉業界の発展に努めて参ります。今後の錦鯉業界を更に盛り上げていくためには、皆様のご協力と参加が欠かせませんので、何卒宜しくお願い申し上げます。

一般社団法人 ワールドニシキゴイクラブ
理事長 阪井健太郎





第1回ワールドニシキゴイショー



海外からも注目度は高く、多くの業者・愛好家が参加を表明

の審査員のチーム構成になります。
成田 各部各種優勝は金・銀・銅各1点、出品数に応じて優勝4〜10席まで最大10点選出します。優勝次席と準優勝のニュアンスという仕組みがわかりづらいので、サンプルに出品数に応じて各部各種1〜10位を各1点選ぶ方式です。
 —— 出品数目標は？
阪井 一〇〇〇本です。出品料は全日本と同じくらいかかるんですが、とくに最初はプールを新たに作ったり、いい品評会をしようと

うに設定しています。一番大きいサイズ85部だけは82〜85cmと3cmで区切っています。また、47部以上はオスの部を設けています。
成田 たとえば今回設定した「57部」ってけっこう絶妙なサイズなんです。既存の55部で部総合そして成魚総合まで狙えるかな？と思つたらわずか1cmオーバーして56cmになっていることがあります。そのまま60部で戦うのはかなり不利だし、ましてや区分総合を狙うのはかなり難しい。そういう意味

でも、他の品評会とは重ならないサイズ区分でチャンスを広げる枠組みとなることを目指しています。
 —— 既存の品評会では微妙な寸法オーバーしてしまったとき、一つ上のサイズでぴったりハマるまで待てるかという、なかなかそううまくはいかないですね。
間野 サイズだけじゃなくて品種区分も少し独特です。部総合優勝以外の入賞種類はダイヤモンド・エメラルド・ルビー・キャッツアイ・サファイアの五つがあります。

ダイヤモンドは全日本という雅賞に相当する、御三家を対象とする賞です。御三家以外の品種は既存の品評会とは少し分け方を変えています。
エメラルド 白写り・五色・A銀
ルビー 変わり鯉・九紋竜・ドイト鯉・光り模様・衣・B銀鱗
キャッツアイ 光り写り・秋翠・べつ甲・緋写り・黄写り・孔雀・丹頂

サファイア 浅黄・無地・光り無地・銀鱗無地
 ※ 詳細は追って掲載する要項をご参照ください。
 —— 審査員は？
阪井 審査員長1名と1班5名の8班編成で審査を行ないます。審査員メンバーの構成も今大会の一つの特徴です。(一社) 全日本錦鯉振興会、(一社) 全日本愛鯉会公認審査員、WNC海外会員、WNCより招待された愛好家で構成します。日本の品評会では初めての



三原市芸術文化センター「ポポロ」



会場内のイメージ図

思ったら、どうしてもそれなりにかかるので、ご理解いただけましたら幸いです。

間野 会場はすごくかっこいいところなんですよ。ステージなどのしつらえもいまだんどんイメージが仕上がってきていますが、トロフィーや賞状まで含めてデザインをトータルコーディネートしていきます。

阪井 今回の会場は三原市芸術文化センター「ポポロ」の駐車場で、表彰式と懇親パーティーはこの建

物の中で行なう予定です。ポポロは日本を代表する世界的建築家である楨文彦氏が手掛けた、とても素敵な建物なのでぜひ多くの皆様にご来場いただきたいです。

成田 夜はイルミネーションがあるので、それを眺めながら素敵な楽しい時間を過ごしていただきたいと企画中です。

土日はこの品評会があつて、月曜は中国地区オークション、火曜は阪井カップ、水曜は阪井さんでWNCメンバーによるメンバ



賞状・トロフィーのデザイン案



限定のオークションを開催予定で、イベント盛りだくさんなので、ぜひ広島にお集まりください。

—— 入会方法や会員種別などを教えてください。
阪井 ゴールド会員・シルバー会



トロフィーのサンプル

員・一般会員の三種類あります。それぞれ会費が異なりますが、これは愛好家さんも業者さんもまったく同じ条件です。

間野 出品するには愛好家さんご本人と取扱業者さんのどちらも会員になっていただく必要がありますので、ぜひご検討ください。

—— 率直に言って、「会費や出品料が……」という声もあるかと思えます。

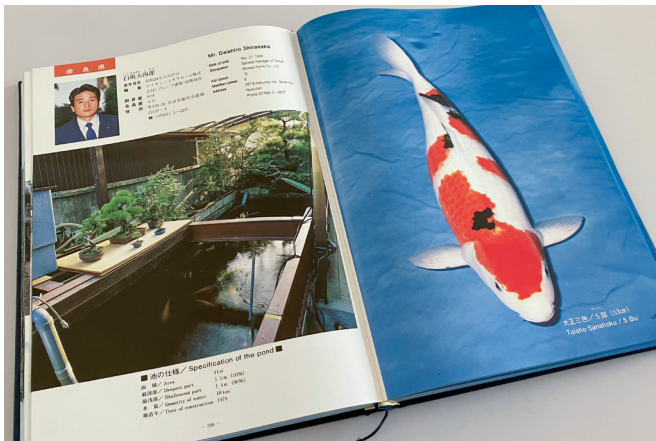
阪井 初めての試みなので、どうしても初回はイチからすべてを用



ゴールド会員に渡される金バッジ

意するため会費や出品料はそれなりの金額になってしまっているのですが、ゴールドは一度なっていただければその先ずっと楽しんでいただければと思いますし、ひとまず一般会員として初回だけでも参加してみようかな？という形でも、私たちがこの取り組みを応援するお気持ちを持たなければ幸いに存じます。

成田 とにかく、勝つても負けても「参加して楽しかったね」という品評会にしたいし、長い目で見たら必ず会員さんにとってメリッ



『錦鯉と池泉』

トがある形にするべく理事が一丸となってがんばってまいりますのでよろしく願います。

阪井 あと、今回の品評会とは直接関係ないんですが、『錦鯉と池泉』ってあるじゃないですか？僕、あの本が好きで、ときどき開いて眺めてるんです。デジタル時代のいまだからこそあいう形で現在の国内外の愛好家さんたちの鯉や池を残しておきたい。池泉のワールドニシキゴイ版を作りたいんです。いろいろやりたいことのアイ



一般社団法人ワールドニシキゴイクラブ
〒729-1405 広島県三原市大和町上徳良1067
TEL 0847-33-0115 FAX 0847-33-0128
world.nishikigoi.club@outlook.com

入会や出品についてのお問い合わせは事務局までお願いします。
次号では、品評会要項や会場へのアクセス宿泊関連の情報などをお届けします。

ディアや構想はありますので、一つ一つカタチにしていけたらと思います。

—— 錦鯉業界が盛り上がる取り組みに期待しています。